

大宮つながるまちづくり

「東日本のハブシティ」としてふさわしい都市機能を備え、住む人も訪れる人も笑顔になれる居心地のよいまちに。民間と行政が手を取り合い、大宮駅周辺のまちづくりが進められています。どのように変わるのか。大宮駅東口エリアを中心とした、今の動きをお伝えします。



民間協働で東日本の顔となるまちづくりを目指す

大宮駅周辺は、埼玉県最大の商業および交通の中心であるにもかかわらず、建物の老朽化や慢性的な交通渋滞、都市基盤整備の遅れなどの問題を抱えています。そこでさいたま市では、市民の方々とともに話し合いを重ね「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」を策定しました。政令指定都市としてはもちろん、首都圏の玄関口としてふさわしい都市機能を備えた「東日本の顔となるまち」、大宮の個性が光る、皆が住みたい、訪れたいと思える「おもて

なし、あふれるまち」、これまで受け継いできた地域資源や豊かな環境を守り育み、次世代に伝える「氷川の杜、継ぐまち」を将来像とし、推進懇談会などで市民と連携をとりながら、まちづくりを進めています。東口では複合ビル建設計画や公共施設の再編など、大きな動きもあります。ビジョンが描くまちをつくり上げていくには、市民と行政がつながり、ともに力を合わせる大切です。さらにパワーアップする大宮駅周辺に、ぜひ注目ください。

こんなまちを目指します

- 東日本の顔となるまち
- おもてなし、あふれるまち
- 氷川の杜、継ぐまち

市民の考え

大宮らしさを生かしたまちづくりを

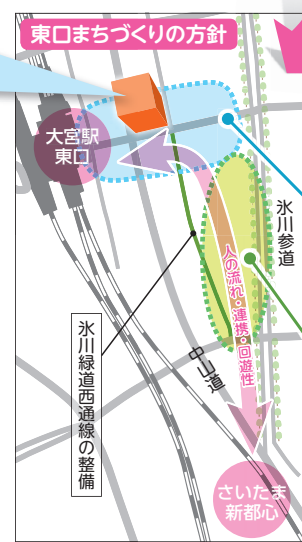
「大宮らしさ」とは、駅に降りたときのおいのような感覚的なもの。行政がハード面を整えるのに対し、氷川神社、大宮公園、盆栽村、鉄道博物館なども含めた大宮らしさをいかに高め、浸透させていくかは市民の役割だと思います。大宮駅東口周辺は、路地を散策するなど「面」で楽しめるエリアです。また、よく昭和っぽいなどと言われるように、アナログ感も漂います。そうした特徴を生かしながら、おもてなしの観点からまちづくりができるといいですね。私たち大宮公園でイベントを開くなど、まちに賑わいをもたらせるようなプランを考えていきたいと思っています。



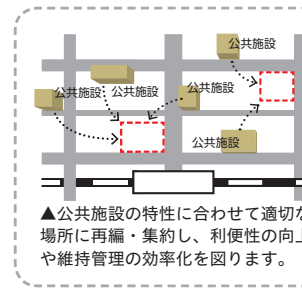
大宮銀座商店街協同組合理事長 栗原俊明さん

大宮駅東口エリアのまちづくり

大宮駅東口周辺では、公共施設の再編により、まちの核となる拠点の整備が行われようとしています。大門町2丁目地区には新たな複合ビルが計画され、駅前に賑わいを生み出す効果が期待されています。また、大宮区役所は県大宮合同庁舎敷地への移転が検討されています。



- こう変わります!**
- 駅前賑わい拠点**
人が集まり賑わいを生み出す、ホール、コミュニティ施設、商業施設などが集まります。
- 地域連携拠点**
大宮からさいたま新都心への連携・回遊性を高めるとともに、憩いの場を造り出します。



公共施設の再編・集約による連鎖型まちづくり

老朽化や耐震性などに課題のある公共施設を再編・集約させ、施設の跡地を周辺のまちづくりに活用する「連鎖型まちづくり」を行っています。

▲公共施設の特性に合わせて適切な場所に再編・集約し、利便性の向上や維持管理の効率化を図ります。

新しい東口の顔が生まれます!!

大門町2丁目中地区に18階建て複合ビルを計画



▲隣接する街区と行き来しやすく、人を招き入れやすいよう、歩行者動線を考えています。敷地の周囲は緑化するなど、うるおいのある空間づくりを行います。

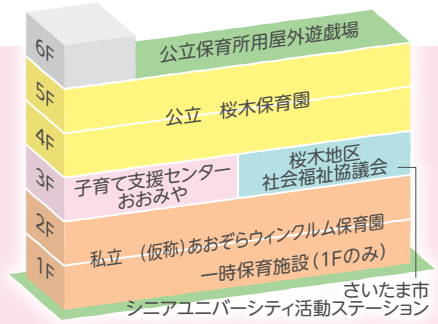


▲人々が集い、憩うことのできる、おもてなし空間としての広場を設けます。周辺の商店街なども連携し、まちに賑わいと興行きをもたらします。

連鎖型まちづくりの一端として、大宮駅東口から約200m東に位置する大門町2丁目中地区に、地上18階建ての複合ビルの建設が計画されています。大・小ホールやコミュニティ施設、放送会館、商業施設、オフィスなどが入る予定で、東口の賑わい拠点の核としての役割を担います。周辺の歩道も拡幅され、広がりのある街区として生まれ変わります。

西口も機能アップ!!

「のびのびプラザ大宮」オープン



大宮駅西口徒歩5分の大宮駅西口第四地区画整理地内に、4月1日、乳幼児の子育て支援を中心とした複合施設「のびのびプラザ大宮」がオープンします。この愛称は、市民公募、投票によって決められたもの。「子どもやお年寄りがのびのび過ごせる場所になるように」という願いが込められています。

館内には、公立・私立保育所、子どもを夜10時まで預けられる一時保育施設、子育て支援センターなど、育児関連の機能が充実しています。

問合せ 幼児政策課 ☎829-1868

問合せ 大宮駅東口まちづくり事務所 ☎646-3289